



2012年1月23日号

生活協同組合
coop あいコープみやぎ

〈発行〉生活協同組合あいコープみやぎ理事会
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町3丁目4番17号
TEL 022-284-7241 FAX 022-284-6373
http://www.wamama.coop

大郷みどり会
みどり会の玄米たまご
6個 275円(税込) 288円
運動場付き開放鶏舎で平飼い飼育。大郷みどり
会が作った飼料を主に国産飼料にこだわり、
BM生物活性水を使用。抗生物質等不使用です。
15日

「みどり会の玄米たまご」

玄米たまごの黄身はどうして白いの？

黄身の色は鶏の食べる餌の色素がそのまま反映しますが卵の栄養価とは関係がありません。今では当たり前のような濃い黄色は輸入トウモロコシの色です。外国産トウモロコシが大量輸入される前の鶏卵の黄身は玄米たまごのようにレモンイエローでした。玄米たまごは飼料米を中心にした地域で取れる餌と十分な運動ができるスペースでのびのび育てた鶏の卵です。放射能汚染リスクに対しては月一回の一次モニタリング (< 50Bq) でチェックしています。

2月組合員交流会

あなたの「この指とまれ！」が、きとある。

2月の組合員交流会が2月13日(月)～3月2日(金)の期間、各地区で開催されます。

昨年3月11日に被災した私達は、何を感じ何を受け止め、あるいはまだ何を受け止めきれないのでしょうか。時は流れます。絆という言葉は深くお腹の中に落とし込んでいないと、思いやりの力すら発揮する場所を失ってしまいます。あいコープみやぎは、協同の力を信じて“3年歩いて到達しよう！”と、各地区委員会の場で3年到達ビジョンを練り上げてきました。今回の組合員交流会では、組合員である皆さん同士で、ざっくばらんにあいコープみやぎの今後の取り組みや夢を語り合い、一緒に前に進んでいきたいと考えます。

人と人との繋がりや大切さや、自分で判断して思いやりを持って選択していく私達の姿勢は、今までもそしてこれからも変わりません。一人一人がどう行動に移すのか、何が出来るのかを、この交流会へ参加して感じて頂ければと思います。生活協同組合だからこそ出来ることがあります。組合員一人一人の力を結集することが大切です。震災を受けて大変な時だからこそ、大きく変わるチャンス！と考え、生協運動を盛り上げていきたいと思えます。

あいコープみやぎの基本理念は、食の自給と安全、自然環境保全、地域福祉の推進です。そして今、この生協運動は、より具体的に、脱原発運動、石けん環境運動、あいぶらんど運動、困った時はお互い様の地域社会活動、自然エネルギー活用への挑戦等として私達の生活に密接に関わっていきます。誰もが安全・安心な暮らしを求めます。だからこそ、一人一人の選択していく目がこれからはもっと必要とされています。生協の組合員として多くを語り合い、組合員活動の力を共に大きなものにしていくために、組合員交流会に一人でも多くの参加がありますよう、各地区のお便りをご覧になって頂きたいと思えます。各地区委員さん達の楽しい活動の様子や、充実した各委員会の紹介もありますので、一緒に仲間になりたい方や企画(各地区のオリジナル)に興味のある方、もっとあいコープを知りたい方、どんどん参加して下さい。安全・安心なそれぞれの地区企画の試食を食べながら、笑顔が生まれ、お腹も心も満たされ、有意義な交流会になることでしょう。皆さんのお越しを心よりお待ちしております。

あいぶらんど運動推進委員会担当理事 高橋 千佳

あいコープカレンダー
2月組合員交流会日程

地区	月日	会場
石巻	2/13(月)	本草園
しおさい	2/22(水)	山王地区公民館
泉AB	2/17(金) 24(金)	桂市民センター 青年文化センター
青葉A	2/20(月) 3/2(金)	エルパーク 木町通り市民センター
青葉B	2/17(金) 28(火)	エルパーク 水の森市民センター
宮城野	2/16(木) 28(火)	福室市民センター 幸町市民センター
若林	2/14(火) 2/23(木)	七郷市民センター 六郷市民センター
太白	2/17(金) 21(火) 23(木)	中田市民センター 柳生市民センター 八本松市民センター
名取岩沼 亘理	2/23(木) 3/2(金)	岩沼中央公民館 名取市那智が丘公民館

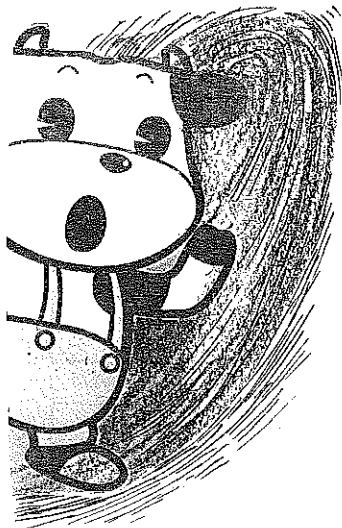
* 詳しいことは各地区のお知らせをご覧ください。

3/12(月) 委員オリエンテーション
場所: 福祉局 時間: 10:00~12:00
6/2(木) 総代会
場所: エルパーク仙台サテライトホール 時間: 9:45~

第10回 大町7丁目 東区市民センター
～これ以上被災地に放射能をばらまかない！～
日時: 2012年2月(日) 10:00~17:10
会場: 仙台市東区大町7丁目1番1号市民センター9-6F
予約問い合わせ先: 佐々木 wakamesanriku@yahoo.co.jp
参加費: 500円

◎ 特集 3年歩いて到達しよう! あいコープみやぎ 3年到達ビジョン
理事が語る 3年ビジョン! part 1

1. 1人は万人のために、万人は1人のために、を地域で体現する生協に!



生協は、誰かから、何かしてもらうところ...ではなく、自分たちの力をあわせて、事を成し遂げる場所です。ですから、私達組合員にとって、「生協に対する要望」などあり得ないのです。もし、「こうだったらいいのにな」の思いが、あなたの中にあったとします。そして、それは、皆のためにも良いこと。なのに、それが1人で力では実現不可能な時、そんな思いを語り、仲間を募り、力をあわせて、夢をかなえる。それが生協です。しかし、思いを同じにすることは、そう簡単にはいかない時がしばしば。そんな時、「よかったら、どうぞ」と、チャンスを作れたらと、夢膨らむのがアンテナショップ。入り口は、喫茶店風? 古民家の玄関? インターネットの中に? 形はいろいろです。私は、ブラックホールのような入り口を夢見ています。ね、入ってみたいでしょう?
理事 工藤 恭子

脱原発をもっと伝えよう 広げよう
只今小冊子作成中!!

『子ども達の未来のために脱原発を進める委員会』が発足して7カ月余りが経過としていきます。これまで委員は環境放射線測定や各地区でのぶんぶんカフェ開催と同時に、原発の問題点や脱原発の意味等について学習をしました。現在それらをまとめ、小冊子を作っています。今後、この冊子を活用して地区行事などで出前ミニ講座を行い、放射能を怖がるだけでなく、原発に依存しない社会を作ろうという意思表示が大切であることを組合員と共有していきたいと考えています。2月に行われる組合員交流会では、できたてほやほやの冊子を配布する予定です。家族やお友達と原発やエネルギーについて、気楽に話すきっかけになる1冊です。是非交流会に参加して、手に入れて下さいね。
担当理事 高野恵美子

さようなら原発1000万人署名×切まであとわずか! 現在あいコープでの集約は4736筆です。まだ署名されていない方、周りに呼びかけたい方、お知らせ下さい。署名用紙をお届けします。連絡先 0120-255-044 門間まで

生産者 っうしん!!

大震災後、あいコープみやぎの生産者の皆さんは、生産にどのように取り組んで来たのでしょうか? その思いをしっかりと受け止めて、買い支えて行きましょう!

食を通して 笑顔になれるような製品を!

大田区 (有)まるご食品

昨年は東日本大震災に大津波と自然の力の大きさ、怖さを肌で感じた年でもあり、またそれ以上に日本人の東北人の強さを実感した一年でした。突然ライフラインや情報が断たれ、ラジオから徐々に流れる状況を初めは理解することが出来ず、経験した事のない不安感、無力感に襲われました。しかし、微力ながら「今出来る事を」と名取・亶理地区での炊き出しや避難所への物資支援をさせて頂きました。その時に皆様からの温かい言葉や子供たちの満面の笑顔に触れ、改めて食の大切さを実感したと共に、食に携わる仕事に従事している者としての喜び、そして同時に深く大きな責任を感じました。

2012年は「復興元年」と報じられていますが、そんな簡単な事ではないと思います。原発事故による経験のない「見えない敵」との戦いもあります。

しかし、出来る事を出来る限り一生懸命取り組み、安心できる製品そして食を通して笑顔になり心が満たされるような製品を本年も製造して参りたいと思っています。

(有)まるご食品 濱口利文



だしバック 「プロの味」



濱口利文さん

たいせつなこと by 石けん環境委員会

「仙台の環境を未来の世代へ引き継ぐために、今私たちにできることは何でしょうか?」そんな環境社会実験を行っている FEEL Sendai の未来プロジェクト in 仙台の企画であいコープみやぎの石けん環境委員会が委託先として選ばれ活動しています。第1回目は「貝直る! ライフスタイル」というテーマで、太陽油脂の長谷川治氏の公演会をエルヴィー仙台(11月15日(水))で行いました。印象的だったお話は、「石けん」は自然界の食物連鎖にしっかりと入っているということ。太陽エネルギーで食物が育ち、油脂を搾油します。そこで中に洗剤として石けんがあり、河川や海水中のCaと結合、これがCa石けんになり、食用となります。これは魚のエサになります。魚は人間によって食われ、私たちのエネルギー源になり、空気中のCO2となり植物の葉の光合成へ役立ちます。つまり太陽光で生活をする、100℃以下で暮らすと良いということでした。合成洗剤や原発は、人間の手では止められない温度でしかつくられません。それは、何か起った時に「結局、人間には止めることができない」ものなのです。会場のエルヴィーラから、仙台の荒浜が見えました。何もかもなくなってしまった沿岸は、そこからとても近く感じられました。「未来の世代へ何を残すの?」と海に言われているようです。
(石けん環境委員会 担当理事・高崎かり)